

米検査の活用 方法は

問

(阿部泰蔵議員)

米の食味検査21万円の結果をどのように販売に結びつけるのか。

課 産業振興

米のブランドづくりを活用

し、ほかの米と差別化をしたい。また、試食販売や国見独自のパッケージ作成などでブランドづくりを進めていきたい。

6次化の推進 方法は

問

(東海林一樹議員)

農産物の6次化の進め方はどう考えているのか。

課 産業振興

6次化には、農家が自分で加工

などをする方法と農家が農産物を専門業者に委託して飲料や菓子に加工する方法がある。この2つを並行して進めていきたい。

※6次化とは

農業などの第1次産業が第2次産業(食品加工)、第3次産業(流通販売)に業務展開すること。それらの数字を足しても掛けても6となるため、6次化産業と呼ばれる。

有害鳥獣対策 への支援は

問

(井砂善榮議員)

有害鳥獣対応の負担が大きくなっているが、有害鳥獣対策実施隊への報酬金額はどうなっているのか。

課 産業振興

実施隊には町臨時職員の賃金を

参考にして1時間あたり890円の報酬を支払っている。

森林再生事業の 内容と場所は

問

(渡辺勝弘議員)

ふくしま森林再生事業3000万円の内容と

実施場所はどこなのか。

課 産業振興

森林の除染として間伐をする

もの。新年度は阿津賀志山周辺で実施し、間伐する前の現地調査や所有者の同意など事前調査を進める。

米検査の負担を 軽減できないか

問

(村上正勝議員)

米の食味検査機械を道の駅などに設置し、農家の負担を減らせないか。

課 産業振興

ブランドづくりのためには、

信頼性のある専門機関への依頼が必要になると考える。今後、生産農家などと協議をして進めていきたい。

古い町営住宅は 入居可能か

問

(東海林一樹議員)

老朽公営住宅除却工事費300万円について、古い町営住宅の戸数と入居者数は。また、仮設住

宅の入居者などが希望すれば入居は可能か。

課 建設

耐用年数を過ぎた老朽住宅は、北古館

と南古館の約50戸。耐用年数間近の住宅は、日渡、宮前、大坂の合計約200戸。入居者は約500人。除却計画がある北古館は新規には入れないが、ほかの住宅は修繕して入居が可能。また、仮設住宅からの希望者はいるが、家賃がかかるため進んでいない。

消防施設費を減額 して町を守るのか

問

(渡辺勝弘議員)

消防施設費は前年度比227万円も減額されている。防火水槽や消火栓の設置数が減ったものだが、人の生命と財産を守るのに重要な設備で予算を減らした理由は。

町長

町全体の安心・安全を守るために、消防、防災全体での予算配分となる。結果として消防設備分が減ったもの。来年度

も効果を上げる最良の配分を検討していきたい。

スクールバス運行に 不安の声があるが

問

(松浦常雄議員)

スクールバスの送迎委託業務について、バスの出発時間の変更になり、早まるのではという子どもや保護者の不安の声を聞いた。どうなっているのか。

課 学校教育

スクールバスを利用する児童

が約30人減っている。そのため停留所やバスの台数、コースなどを保護者代表、学校、教育委員会で全般的に協議している。保護者の声も聞いてスクールバスの運行を続けていきたい。

ハス池の 管理方針は

問

(村上晴夫議員)

中尊寺ハス育成団体補助金85万円について、歴史まちづくりもあり、中尊寺ハスは町の観光資源と

してとても重要になるが、今後も管理を育成団体にまかせられるのか。

生涯学習課 長 歴史まちづくり計画によるハ

ス池や周辺整備は平成29年度以降の計画であり、当面は育成会に管理をお願いする。

職員数の適正規模は

問 (佐藤定男議員) 職員数は前年度と比べて10人増の115人で

ある。震災の影響もあり増加しているが、町の適正規模をどう考えるのか。

総務課 長 職員数は今が最大と考えている。今後

は復旧・復興、元気活力事業の減で職員数も減る見込み。適正規模は、震災前の約100人と考えている。

納税相談に問題はないのか

問 (浅野富男議員) ファイナンシャルプランナー事業の説明に

「年金受給者の年金を担保に借り入れを行い、本税を納税する」とあるが、生活費を削ってでも返すという指導は問題では。

税務課 長 納税は国民の義務であり、公平、公正

に負担するためには必要と考える。法律の知識を持った専門家の助言であり、最低制限の生活を保障しながらも無理のない返済計画での借り入れになっている。

東京くみに会の今後の展開は

問 (渋谷福重議員) 東京くみに会事業委託料200万円について、今後、どのような展開を考えているのか。

町外から応援してくれる人を見つけることを目的としている。新年度ではふるさと会を設立し、そこを中心に町を応援してもらうことを考えている。

企画情報課 長 町外から応援してくれ

る人を見つけることを目的としている。新年度ではふるさと会を設立し、そこを中心に町を応援してもらうことを考えている。

湧水対策施設財産管理に7人を選任

- 菊地 武雄氏(石母田原)
- 佐藤 和夫氏(第4)
- 實沢 勝範氏(第9)
- 阿部 洋一氏(大木戸)
- 後藤 克好氏(高城)
- 鈴木 耕治氏(川内)

湧水対策施設財産管理委員の任期満了により、次の7人の選任に同意しました。任期は平成31年3月14日までの4年間。

- 第1号委員(石母田地区) 松浦 勝吉氏(石母田西)
- 第2号委員(大木戸(山根)地区) 菊池 勝雄氏
- 大内 茂氏

- 第3号委員(貝田地区) 齋藤 修一氏
- 松田 富男氏
- 松浦 美孝氏
- 大沼 剛司氏

人事

新選挙管理委員長に齋藤 弘氏



齋藤 弘氏

任期満了による選挙管理委員とその補充員の選挙が行われ、あらかじめ推薦された次の8人が当選しました。任期は平成31年4月3日までの4年間。なお、4月の選挙管理委員会では齋藤弘氏が委員長に選ばれました。

選挙管理委員

- 齋藤 弘氏(耕谷)
- 木村 正義氏(川内)
- 高橋 一博氏(高城)
- 武田 睦子氏(第3)

固定資産評価審査委員に奥山宏氏を再任

固定資産評価審査委員の

- 選挙管理委員補充員
- 第1順位 安藤 宏美氏(前田)
- 第2順位 佐々木和保氏(宮町北)
- 第3順位 佐藤 吉茂氏(第7)
- 第4順位 松浦 光子氏(大木戸)

入山財産区委員に7人を選任

入山財産区委員の任期満了により、次の7人の選任に同意しました。任期は平成31年5月5日までの4年間。

中野 一雄氏(鶉町)